

アキラボーイ×タヌキチくん

DX講演会

アキラボーイとタヌキチくんの

デュータニショ

企画書



DXがテーマのデジタルショーとは？

「見る・感じる・理解する」直感的な学びが、子供たちの未来を拓く！

映像やアニメーションを活用し、子供たちにデジタル社会の未来を直感的に楽しく学べる講演会です！

子供向けの講演会では、ただ話を聞くだけではなく、映像やアニメーションを活用して、直感的に理解できる内容にすることが重要です。

デジタル芸人「アキラボーイ」がお届けする講演会では、プロジェクターを使った映像演出やインタラクティブなショーで、子供たちの好奇心を刺激し、楽しく学べる時間を提供します。

DX講演会ポイント

- 笑える×学べる…デジタル技術をテーマにした「アニメ漫才」や「参加型ショー」で楽しみながら学習。
- 学校向け内容…デジタル時代の「考え方」や「未来への可能性」を、学校教育の一環として分かりやすく解説。
- 子どもたちの興味を引き出す:映像とアニメを活用し、デジタルの世界を身近に感じさせます。

講師アキラボーイとは？

デジタル芸人のパイオニアとして、映像との融合芸を世界でも初めて作り上げた世界初のデジタル芸人です。現在はデジタル系のイベント会社を立ち上げ、全国各地で子供向けイベントを展開しています。

そんなデジタル芸人「アキラボーイ」が、デジタルトランスフォーメーション(DX)を分かりやすく、そして楽しく解説するDX講演会をお届けします！「デジタルって難しそう…」そんな小学生・中学生・高校生にも大人気！映像技術と笑いを駆使したインタラクティブなデジタルショーで、子どもたちが「デジタル技術の未来」を実感しながら学べる特別な時間を提供します。

プログラミングステージは他に例を見ない！先駆者アキラボーイの発明コンテンツです！

デジタルショーは、全編プログラミング制御された最新型のショーイベントです。

映像のキャラクターに触れたり出来る全生徒体験型のショーです。映像に触れると言ってもそう単純な話ではありません。子供の動きに合わせて、映像が反応します。

これはAIの様なもので、子供の動きをプログラミングで分析し、その動きを映像に反映させるというもので、子供の動きもいくつものパターンでプログラミングに仕込んで置きそれを状況に合わせて映像に反映させるという事です。これらは自動制御システムであり、プログラミング教育のまさに根底となるものです。

アキラボーイは20年も前からこのプログラミングステージを行っており、またデジタルショーという言葉や概念を世の中に作り上げたデジタルプログラミングショーの先駆者です。まさにこういうイベントステージがなかったという事もある全国、世界を探してもアキラボーイはオンリーワンのイベントステージとなっています！



デジタルショー&アキラボーイ概要説明

デジタルショー

今流行りの最新デジタル技術を組み込んだ、お笑い芸人アキラボーイが、世界でも初めて作り上げたショー、それがデジタルショーです。その爆発的なウケは、日本の子供向けイベントの中でもトップクラスを誇り、リピート率も高く、全国各地で年間200件以上のショーを行っています。

子ども向け

今まで数多くの幼稚園や保育園、小学校などを回っているアキラボーイは、その積み重なった経験から、保育士ほどに子供の扱いもうまく、子供の事をよく考えています。子供向けにやってるパフォーマーは日本中たくさんいますが、子供をよく知って、よく扱いながらショーをするというパフォーマーは、あまりいないのではないのでしょうか。ショーが終わった後も、大変みなさんに愛されていて、リピート率も、ものすごく高いものになっています。

デジタルショーの一番の売りは、子供に優しいアキラボーイのその人柄なのです。

デジタルショーの内容は、日本ではオンリーワンの芸なので、その内容自体も面白いのですが、それを超えて、芸というものは、やはり人柄というものが一番大事だと考えています。

さしかがた

またデジタルショーの一番の特徴として、お客さん全員が参加型のショーとなっています。

お客さんが1、2人ステージに上がるというショーはよくありますが、デジタルショーに関しては、お客さん全員がステージに上がってもらいます。子供向けに行っていると、「僕も私もやりたかった!」などの意見などがあると思いますが、そんな思いを全員叶えてしまおう! という、最後には全員が笑顔になって帰ってもらうために、作り上げた形の一つとなっています。

全員が公平に、というのはなかなか難しい事ではあるのですが、それでも全員が楽しかった!と最後に言ってもらいたいという理想を追い求めて、アキラボーイの思いやりが詰まって出来上がった形が、全員参加型のショーなのです。

じっせき

テレビ番組でも数多く特集が組まれました。※全てアキラボーイの特集枠で放送された番組です。

- TBS系列「中居正広の金曜日のスマたちへ」 ●日本テレビ系列「スッキリ!!」 ●読売テレビ系列「朝生ワイド す・またん! & ZIP!」
- 関西テレビ系列「ジャニ勉」 ●NHK総合「ろーかる直送便 デジタルアートon TV FUKUOKA」
- テレビ東京系列「ピラメキーノ640」2013～14年準レギュラー ●日本テレビ系列「ZIP!」2013年準レギュラー

数多くのコンテストでも受賞しています。

- 「アジアデジタルアート大賞2012」エンターテインメント部門 大賞受賞 ●経済産業大臣賞受賞
- 日本テレビ「iCon」D-1グランプリ(デジタル芸人No.1決定戦)優勝 ●バンダイナムコ ビジネスプランコンテスト アライアンス賞

大きなイベントも多く受注しています。

NHK「おかあさんといっしょ」イベント用デジタル顔出しパネルの制作など



作品内容その1

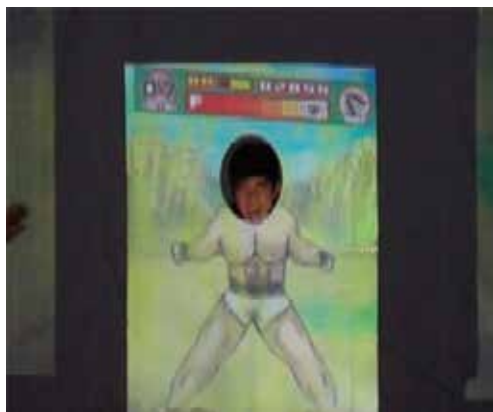
アニメまじざい

日本で唯一の芸「アニメ漫才」です。アニメキャラと漫才をする日本で初めて映像との融合芸を生み出した作品で、お笑いの世界をDXで進化させた、まさに未来の漫才の姿です。



おおごえ

こちらもアキラボーイが発明したネタ、「デジタル顔出しパネル」です。自分の声でアニメーションを操作する事が出来ます。昭和の時代のエンタメをDXで進化させた作品です。



さわってみよう

全員参加のコーナー「さわってみようのコーナー」です。ボールを蹴ったり、キャラクターに触ったり、子供の年齢に合わせて、簡単なものから、少し体を動かしたり頭を使ったりするようなものがあります。



バーチャルゲーム

アジアデジタルアート大賞優秀賞を受賞した作品で、体を使って、ゲームの世界に入って冒険します。複数人数で体験することも可能です。





作品内容その2

多次元の世界

カメラ技術を使った不思議な世界です。それはまるで4次元のような、5次元のような不思議な世界。科学館によくある不思議ミラーをDX化し、デジタル版として進化させました。



デジタル空気砲

サイエンスショーなどでよく使われる空気砲にプロジェクションマッピングの技術とセンサー技術を組み合わせ、DX化で進化したデジタル空気砲です。



トントンずもう

紙のトントン相撲の遊びをDX化したデジタルトントン相撲です。足踏みで地面をトントンする事で、紙相撲を操作します。参加者全員でも出来る全員参加型のコンテンツです。



即興スライドショー

プログラミングにより動画や尺を自動計算。即興で当日撮影していた動画を自動編集し、スライドショーにして、今日のイベントを振ります。ここで感極まって泣く人もいる感動のエンディングです。 ※着ぐるみは有料オプションです。





有料オプション

シャボン玉パーティー

ショーを見た後はみんなで外に出て、アキラボーイと一緒にシャボン玉で遊ぶ、テンションマックスのオススメの最強オプションです！



まぐろみ

最後のお見送りには、着ぐるみのタヌキくんも登場します！
最後に一緒に遊べて触れるタヌキくんに、子供達も、テンションマックスで帰っていきます！



ビンゴ&ガチャプラン

最強オプションの「ビンゴ大会」と「ガチャポンプラン」！
景品はタヌキくんのグッズなど（ビンゴはさらにおもちゃやお菓子付き）になりますが、デジタルショーを見た後は、そんなグッズが欲しくてテンションマックスになります！



せいさく

こちらもおプションプランの「記念グッズ制作」です。
卒園や卒業時、または記念に合わせて、オリジナルの自由帳などを制作します。





行く先々で愛されています！

かざりつけ

行く先々の幼稚園、保育園、小学校などで、担当してくれているお母さんたちが、様々な飾り付けを作ってくれます。

他の芸人たちと比べても、こんな事をしてくれるのは、アキラボーイしか見た事がありません。

まさにそのくらいとても現場では愛されていて、これはアキラボーイの人柄がなせることなのかもしれませんね。

